

発泡成形技術の 基礎と気泡成長制御

- ◆日時: 2017年4月6日(木) 11:00~16:30
- ◆会場: ウィンクあいち 10F 1008
- ◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

⇒1名につき32,400円(税込、昼食・資料付き)
2名同時申し込みの場合、1名につき21,600円(税込)

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

【第1部】11:00~12:30

「発泡成形の基礎と微細射出発泡成形」

秋元技術士事務所 所長

技術士(化学部門) 博士(工学) 秋元 英郎 氏

※兼 プラスチックス・ジャパン(株) 代表取締役

- はじめに
- 発泡体・多孔体の製法、特徴
- 発泡成形に用いられる発泡剤
 - ・化学発泡剤 ・物理発泡剤
 - ・超臨界流体 ・マイクロカプセル
- 射出発泡成形の基礎
- 微細射出発泡成形(MuCell)の特徴、応用
 - ・MuCellの原理 ・超臨界流体の必要性
 - ・設備と制御 ・気泡の制御
 - ・メリット ・用途例
 - ・トラブルシューティング
 - ・製品・金型設計 ・一歩進んだMuCell
- コアバック発泡
 - ・原理
 - ・利点(何故コアバックによる軽量化効果は大きいのか)
 - ・設備(成形機、金型) ・制御(気泡の制御)
- 今後の展開

《質疑応答・名刺交換》

【第2部】13:15~14:45

「化学発泡剤を用いた発泡成形について」

永和化成工業(株) 研究開発部 研究開発グループ

係長 岩崎 大 氏

- 化学発泡剤について
 - 1-1. 熱分解型化学発泡剤とは
 - (1)主要発泡剤の解説 (2)化学発泡剤の実績
 - 1-2. 発泡剤の使いこなし
 - (1)発泡剤の選択 (2)発泡剤の複合化
 - (3)発泡剤の加工・処理

- 化学発泡剤での発泡成形
 - 2-1. 発泡による高機能化
 - 2-2. 化学発泡の用途
 - (1)自動車向け用途 (2)その他の用途
- 化学発泡での発泡成形例
 - 3-1. 発泡のメカニズム
 - 3-2. 成形例
 - (1)常圧架橋発泡成形
 - (2)押出発泡成形
 - (3)押出連続加硫発泡成形
 - (4)射出発泡コアバック成形
- 応用と特殊品
 - 4-1. 発泡剤の改善
 - 4-2. 高機能特殊品
- 取扱いの際の注意点

《質疑応答・名刺交換》

【第3部】15:00~16:30

「プラスチック射出発泡成形における

発泡現象の可視化とそのメカニズムの考察」

金沢工業大学 工学部 機械工学科 教授 工学博士 山部 昌 氏

※兼 日産自動車(株) 総合研究所 シニア・イノベーション・リサーチチャー

- はじめに
- 射出発泡成形の概略
 - ・化学発泡成形
 - ・物理発泡成形
- 化学発泡成形
 - ・発泡制御と機械的特性
- 物理発泡成形
 - ・気泡成長と均一発泡
- 繊維強化樹脂と化学発泡
 - ・可視化による気泡成長観察と配向制御
- 成形不良現象のメカニズム解析
 - ・表面可視化による不良現象の発生メカニズム
- 今後の展望
 - ・吸音材への応用
 - ・導電性ファイバーの配向制御

《質疑応答・名刺交換》

(講師紹介割引)『発泡成形』【名古屋開催】セミナー申込書

| | | | |
|-------|---|-----|--|
| 会社・大学 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |

| お名前 | 所属・役職 | E-Mail |
|-----|-------|--------|
| ① | | |
| ② | | |

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申し込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXでお送りください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>